The Women's News, Japan

This paper's aim is to promote peace and equality from the point of view of women.

本紙は女性の視点で平和と平等を推進します

女性ニューズ
The Women's News, Japan

発行所　全国婦人新聞社
〒160東京都新宿区西新宿3-7-28宝幸西新宿ビル
電話　03-3343-1846(代)　FAX　03-3348-1890
月3回発行(10日、20日、30日)　振替口座 00150-7-172320
購読料　1年　6,500円　(郵送料 1,700円を含み前納)

自然の色と味を生かすうすくち
東 ヒガシマル醤油
うすくち醤油発祥の地　兵庫県龍野市 ヒガシマル醤油株式会社

国立婦人教育会館

女性のエンパワーメントと女性学・ジェンダー研究

北京の熱気ヌエックに
多様なテーマのびのび討論

2日間・ワークショップ

ワークショップは、どこでも自由に参加できるとあって、人気のあるものは参加希望者が廊下まであふれた。「北京のNGOフォーラムを思い出しますね」と、嬉々とした顔が廊下を行き交う。テーマは、女性問題研究、政治、性、地域に密着した活動と多種多様。報告・討論だけでなく、ビデオ、寸劇、紙芝居など工夫を凝らしたものが多かった。

最も参加者が多かったのは、女性を政治の場に送るバックアップ活動をしている「女性と政治情報センター・関西」と「チャレンジャーの会」（東京・大田区）の合同ワークショップだ。日本の女性議員数は、国会（衆・参）では七・六%、地方議会は四・四%で、女性議員ゼロという議会が五六・九%もある。

「女性と政治――」代表の正井礼子さんは、大震災後の神戸復興に、障害者・老人・女性など弱者の視点が生かされないことに怒りと危機感を持ち、自ら神戸市議選に立候補。次点で落選したが、これを機に昨年六月、仲間と共に「女性を議会へバックアップスクール」を開校。三十人も集まれば…と思っていたが、全国から二百人近い応募があった。「議会に女性の視点が必要と、切実に思っている人たちが多いことを改めて感じた」（正井さん）。受講生の中から、五人の議員が誕生した。

「チャレンジャーの会」は、区の講座を受ける中で意識に目覚め「東京・二十三区中、女性議員数ワースト・ワンの大田区を変えよう」と、昨年九月に結成。次の統一地方選を目指して、候補者探し、選挙の戦い方などを学習中だ。

同様の活動をしているグループ、議員もたくさん参加し、〝地盤・看板・鞄〟がない女性が選挙をどう戦うかが話し合われた。大切なのは、女性自身が女性を議会に送る意義を認識し、超党派でバックアップすることだが、多くの地域で女性の政治活動を嫌う現実があることが報告され、封建的な慣習打破のためには、クォータ制導入が必要などの意見が噴出した。

封建的な土壌に阻まれ、思うように活動できない声が多い。特に農村地域の女性たちは、生産の重要な担い手でありながら、いつまでたっても補佐役。女が働き男が金をとるただ働きの現状。四国・徳島の「徳命元村みんなでやらんで会」は、「農村地域における女性の地位の実態とその対策――都市近郊農村の農家及び地域コミュニティ活動における女性の役割（地位の向上）」をテーマにワークショップを開いた。実態を明らかにするためのアンケート調査結果と、試行錯誤の自治会活動を報告。アンケートの結果は、家庭はともかくも、地域では男女平等ではないが、「このままでいいじゃないか」という結果だった。同会は、住みよい村作りのためにと結成した会で、村内の環境点検、ごみ収集、水道水の汚濁問題といった従来からの活動に加え、リサイクル、冠婚葬祭の簡素化といったものにも取り組むようになった。だが、会長と顧問は男でなければ納まらない。実質的な運営は女性がしていても、女性が長となるのは難しいと言う。女性自身も、せっかく回ってきた役員の席も遠慮してしまう。女性の能力を正しく評価し、男女支え合う農村社会にするにはどうしたらいいか。報告した同会事務局の小林徳子さんは「何か提案すればでしゃばりといわれ、男ばかりか女が足を引く」と言う。話を聞いて参加者から、「ジェンダーの問題を解決していくプランニングが、会のコンセプトとして見えてこない。長くつなげるにはジェンダーの視点が必要」との指摘もあった。

農村地域の女性の現状について話し合われた（徳命元村みんなでやらんで会）

深刻な暴力問題を寸劇で分りやすく（グループせっせっせ）

「わらえる　偏見?!カンちがい」を博多にわかでパフォーマンス（女性と健康北九州ネットワーク）

わずか6%だが、男性の参加も―。

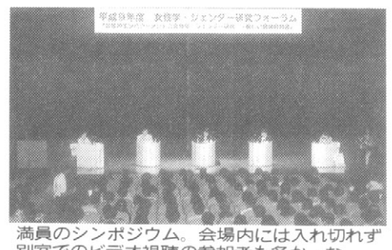
新しい価値の創造

パネル・ディスカッション

パネル・ディスカッションのテーマは、「女性のエンパワーメントと女性学・ジェンダー研究――女性の人権確立のために」。パネリストは、須貝道雄（日経新聞生活家庭部次長）、角田由紀子（弁護士）、船橋邦子（大阪女子大女性学研究センター主任研究官）さんら。同フォーラムの企画・運営委員の亀田温子（十文字学園女子大助教授）さんと、山田昌弘（東京学芸大助教授）さんが、コーディネーターを務めた。

まず、山田さんが「ジェンダー、エンパワーメントという言葉は、それなりに普及し目指す方向も見えてきたが、どういうあり方が人権尊重であり男女共同参画であるのか見えにくくなっている。望ましいあり方にエンパワーメントなのか見えにくくなっている。望ましいあり方に価値があるなら、新しい価値を成立していく時期であり、それを支えるには、どのようなシステムが必要なのだろうか」と問題提起。

角田さんは、「人権とは、人間の尊厳が抑圧されることなく生きていくことができることを、社会的に保証されていること。新しい価値とは、これまで無視されたものを確認・承認し、発見・肯定すること」と言い、今年五月に判決がでた熊本のセクシュアル・ハラスメント裁判を例に引き、半年間も被告と関係のあった原告が、自分の権利侵害を回復したいと訴え、女性の視点、現実に立ったフェミニスト・カウンセラーの証言を裁判官が理解し、勝訴した。十年前なら尊厳を踏みにじられたといって訴えることも難しかった性暴力に対して、女性たちは闘い始めている。「司法の性差別意識にメスを入れ、警察にもプラスの効果を与えるだろう。男性一色で考えられてきた司法に、百八十度価値変換させた意味は大きい」と言い、ジェンダー・バイアスのかかった中で育った裁判官にも現実を知らせ考え方を変えることができる。事実を持って立ち向かい、新しい考え方を勝ち取ろうと話した。


満員のシンポジウム。会場内には入れ切れず別室でのビデオ視聴の参加者も多かった

続いて須貝さんは、新しい価値の創造を象徴する例として、生活問題のプロを打ち出して市町村議会で活躍している無党派の女性議員の進出を上げる。〝以前は〝主婦〟の政治進出として〝素人感覚〟が注目されたが、介護ヘルパーと議員という兼業議員や、議会傍聴を毎回繰り返す中で市政を熟知し、自ら立候補した女性もいる。若い女性議員の進出で産休をめぐって議会内で議論も起った。議会は以前に比べバリアフリーになっている。国政選挙と違い少数グループが当選できる市町村議会は女性に有利」と言い、議会をもっと身近に考えようという。

二十年近いNGO活動と、その成果を生かすことになった佐賀県の女性センター・アバンセの館長時代、そして現在は千葉県松戸市の行動計画作りにかかわるという三つの異なったステージの経験から船橋さんは、「何をするのか、何を求めるのか、という目的意識を持ち、そのプロセスを大切にすること。イコールパートナーシップには、同じ視点を持って支え合い分かち合っていくこと」と言う。そして主体性を持った政策提言ができる市民になり、行政と緊張感を保つために、何をするのかをはっきりさせる、ネットワークの中では、フェアに情報が伝わるようにしようと話した。

三人の話を踏まえ亀田さんが、「人権の確立、新しい価値の創造のためには〝無理だ〟〝当たり前〟とせず、差別を見抜く個人の力、主体性の大切さが確認された。見えにくかったものが見える形になったのはジェンダーの視点。これを社会に結びつけることで変革が起こることを改めて感じた」とコメント。続く話し合いでは、メディア、司法の場でのジェンダー・ギャップが指摘され、角田さんから「裁判官の研修を、司法研修所とヌエックで共同企画してやれば有効ではないか」の発案に、会場から盛んに拍手が沸いた。

真夏の〝嵐山〟恒例の「女性学・ジェンダー研究フォーラム」が、8月1日から3日まで埼玉県武蔵嵐山町のヌエック（国立婦人教育会館・大野曜館長）で開かれた。同フォーラムは、同会館で人気の高かった「女性学講座」をリニューアル。その成果を踏まえて昨年からスタートしたもので、参加者主催のワークショップを主体に繰り広げられる。今年のテーマは「女性のエンパワーメントと女性学・ジェンダー研究ー新しい価値の創造ー」。北は青森、南は沖縄まで全国から1200人が参加。1日目のパネル・ディスカッションの後、2日目からは105にも及ぶワークショップで、活動の課題や成果を出し合い、情報交換し熱い3日間を過ごした。

たんぽぽ

第三次教科書訴訟上告審で最高裁は「731部隊」の記述を削除するよう求めた処分を違法と認めた。家永三郎さんが求めたすべてが認められたわけではないが、最高裁で、検定が違法を含むものだということを認めた意義は大きい▼大野裁判長が個別意見で述べた「わが国が近現代において近隣諸国の民衆に与えた被害を教科書に記述することは、自国の歴史をはずかしめるものでは決してない」との見解にも、少し胸のつかえがおりたような気がした▼三十二年にも及ぶ長い法廷闘争で問われたのは、国の教育そのものだったと思う。「教育権が国民にある」ということを示した「杉本判決」（七〇年、第二次訴訟東京地裁）。義務教育とは〝国民の学校に行く義務〟と思い込んでいた私は、目から鱗がおちる思いがした▼さらに、誰の目にもはっきりしたことは、検定制度の持つおかしさであろう。裁判は検定制度自体は違憲とはしなかったが、なんでも〝おカミ〟第一、おカミのすることには間違いなしと思っていた人々が、おかしさに気付いた。そして、市民が教育にもの申すことの大切さを知った▼教科書訴訟で検定をめぐる環境は大きく変わった。二回の検定規則改定でかなりゆるやかになったという。が、検定制度はまだ〝健在〟である。ことしの検定結果の発表では、家庭科の教科書の不合格が大きな問題となった。私も、不合格教科書に目を通してみたが、何処がいけないのか頭をひねるだけだった。教科書検定が必要なものなのか、現場の教師たちの採択の良識にまかせられないものか。さらに国民的論議と闘いが必要だろう。

海外通信　アメリカ　サンタフェ＝㉙浅葉和子

プエブロ・インディアンと共に

ニュー・メキシコのもう一つの現実

地球の環境問題を考えたとき「人間は自然の一部であり、自然との調和の中で生きている」というネイティブアメリカンの精神は、エコロジー問題の原点を語っていることに気づく。荒涼とした砂漠にそそり立つ褐色の岩山、乾ききった地平線、地球を包み込むような大きな空…。インディアンリザベーションの土地はほとんどが農耕に適さない干からびた大地だ。そんな厳しい現状の中でも伝統を守り、自然に添って生きようとする強固な精神を持つ人々がそこにいる。

そんなニューメキシコ州に、彼らの生き方とは全く違ったもう一つの現実がある。かつて原子爆弾を作ったアメリカ最大の科学研究所があるロスアラモスが、サン・イルデホンソープエブロの一角に存在し、今もなお、原子核の研究が続けられている。

サン・イルデホンソープエブロから西に山一つ越えると、突然ロスアラモスの近代都市が現れる。そこでは二百人近いプエブロの人々が働き、日本人の科学者たちも力を貸しているという。サマーワークショップの生徒だったプレリンダのお母さんもロスアラモスで働いている。

ロスアラモスには、アメリカでいちばんの高所得の人々が住んでいると言われている。ちょうど広島原爆投下五十周年の展示会をしているというので、科学研究所を訪ねてみると、私の予想とは全く違う印象で大きなショックを受けた。私の考えとしては、一瞬のうちに多くの犠牲者を出した広島、長崎に対して、その原因を作った科学研究所は深い謝罪と悔恨の心をもって展示しているに違いないと勝手に考えていたが、それはあくまで日本人の考えであるということを思い知らされた。

壁面いっぱいに引き延ばされた赤く輝いたキノコ雲の展示は、まるで科学研究の大きさを誇張しているかのような印象を受けた。原爆投下によって戦争に終止符をうったこと、アメリカの軍事力、科学の力を世界に表示できたことがメインで、被爆者への謝罪の気持ちは全く感じられなかった。おまけにキノコ雲を胸にプリントしたTシャツまでが売られているのにはガックリ来てしまった。

しかし、そんな中でも、草の根平和運動が子どもたちの中で大きく育っている。

アルバカーキに住むケミー・コンドンさんは、被爆五十周年を目指して平和の像を建設する運動を多くの子どもたちと共に行っていた。これは、「禎子の千羽鶴」という被爆で死んでいった少女のことを書いた絵本を読んで感動した子どもたちからおこった運動で、今では大きな輪となって全米に広がっている。

ネバダ州、ユタ州など、地下の核実験場付近ではガンによる死亡率が高く、生まれてくる赤ちゃんに奇形児が多く、その弊害は確実に現れているという。科学の一部が人類を破壊する武器であると知りながら、それをなお作りつづけようという側、

ケミー・コンドンさん（中）と、子供たちのデザインしたピースモニュメントを見るジュディ（左）と筆者（右）。ジュディの手にある本が「禎子と千羽鶴」

ニュースくりっぷ

◆家永訴訟「731部隊削除は違法」と最高裁が認定　29日、最高裁第3小法廷は、八〇年、八三年度の教科書検定をめぐり、執筆者の家永三郎・元東教育大教授が国に損害賠償を求めた「第3次家永教科書訴訟」で、「当時、部隊の存在は定説化しており、裁量権を逸脱した」として、国に四十万円の支払いを命じた。

◆英国、ダイアナ元皇太子妃が事故死　三十一日午前零時半（日本時間同日午前七時半）すぎ、ダイアナ元妃が乗った車が、パリ中心部のセーヌ川沿いのトンネル内で交通事故を起し死亡。葬儀は六日に行われ、スペンサー家領地内にある小島に埋葬された。

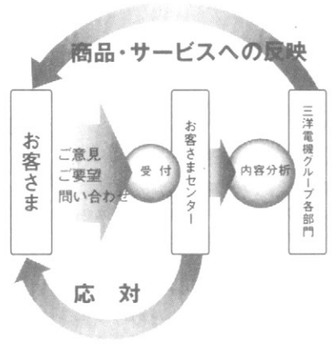
◆高野悦子さん、フィルムセンター名誉会長に　映画フィルムの収集・保存や上映に当たる東京国立近代美術館フィルムセンターの初代名誉館長に、岩波ホール総支配人の高野さんが、一日付で就任。文化庁は映画芸術の振興拠点にするため、名誉館長のポストを新設したという。

「女性ニューズ」は、読者とともにつくる新聞です

大切な声、いかします。

SANYO
人と・地球が大好きです

お客さまの身になって、貴重なご意見を役立てています。「お客さまセンター」に寄せられる買物相談や取扱相談、カタログ送付依頼などのさまざまなお問い合わせやご要望を専門のアポインターが受付しています。さらに、お伺いしたお客さまのご相談・ご要望・ご提案を収集分析、各部門に伝達し、商品やサービスの改善・開発の際の貴重なご意見として役立てています。



※お客様の声をよくきいかしたいという願いをあらわしたキャラクター

お客さまセンター ●総合ご相談窓口……大阪ご相談センター 電話 大阪(06)994-9570　東京ご相談センター 電話 東京(03)3815-1111　三洋電機株式会社

黙ってはいられぬ！安保強化
手づくりの憲法集会で訴える
東京調布・多摩女性学研究会

憲法施行五十周年を迎えたこの夏、東京都内で女性たちによる〝手作り〟憲法集会が開かれた。主催したのは調布市内で活動する学習グループ「多摩女性学研究会」。戦後五十二年、まだ戦後補償もすまない内に台頭している明文改憲論。そして安保条約「再定義」とガイドラインの見直し。こうした事態に「今こそ平和憲法の意義を確認しよう」と企画した。（97サマー・フォーラム「わたしたちの日本国憲法」＝八月三十日・調布市市民センター）

研究会は八年前に発足。メンバーは現在約二十人。サマー・フォーラム開催は今年で三回になる。九五年の第一回は「戦後五十年」、昨年は「沖縄問題」をテーマにとりあげた。

事務局を務める石川康子さんは「憲法施行五十周年にして、改憲を声高に唱える動きが目立っている。しかし、この五十年、日本が戦争に巻き込まれず、私たちが親しい者を失わずに過ごせたのは憲法九条があったからではないだろうか。さらに安保条約の強化など、今年も黙ってはいられない問題がある」と話す。

集会は、まず〝特別ゲスト〟として、GHQ民生局に勤務していた当時、二十二歳で憲法起草に加わった女性ベアテ・シロタ・ゴードンさんのビデオを見たあと、研究会メンバー自作自演による憲法劇「九条家の人々」。〝九条家〟の結婚話、さらに話は飛躍して、憲法九条の改正案が国会議員三分の二の提案で出され、国民投票に託されると想定した物語。「身近な問題の中で憲法を分かりやすく訴えたかった」と稽古してきたもので、随所に憲法の三分の一を占める人権条項や、問題提起が盛り込まれている。

「つまり九条に苦情が出ているのですね」などのセリフに参加者一同大笑いした後、山内敏弘（一ツ橋大学教授・憲法学）さんの「平和主義の過去・現在・未来」と題した講演が行われた。

山内さんは、韓国〝東アジアの平和と韓半島の統一〟をテーマに話合われたシンポジウムに出席、帰国したばかり。初めにこの五十年を振り返り「平和主義〝定着〟と〝空洞化〟のせめぎ合いの五十年。勝負は現在もついていない」。

〝空洞化〟の側面は「戦争責任と戦後補償が未だ決着していないこと」、「日米安保体制（沖縄問題、自衛隊増強）」という現状から見てとれる。

憲法劇「九条家の人々」のひとこま

間もなく最終案が出される「安保再定義」とガイドラインの見直しでは、日本に対する武力攻撃から、あいまいな「日本周辺地域」の武力紛争へと転換が図られる。「〝専守防衛〟の枠を超える規定は、六十年以来、安保条約のどこにもない。世界の有事に米国が出兵、日本の自衛隊も何らかの形で出る。その軍事協力を約束するというのが今度の見直しだ」。「韓国の三星経済研究所は、南北統一に向け四つのシナリオを用意している。1双方対等（合意型）、2韓国主導（誘導型）、3北朝鮮主導（崩壊型）、4北が南を攻め、負ける（衝突型）。この内1と4の可能性は低く、2と3、あるいは中間型というのが考え方の主流だ。今日本で話されていることは、認識において大きなズレがある」。

有事立法も今まさに進められようとしている情勢だが、「有事議論の前提そのものを問題視すべきだ」と話す。

総保守化・翼賛体制のもと、国民の間からも改憲に賛成の意見が出ていることについても「国民と、支配政党の改憲論の中身は異なる」と明快に指摘する。

参加者から「自民党は独自の世論調査で、国民の七六%が改憲に賛成してるという。しかしこの調査は〝時代に合わせて変えた方が良いか〟など、誘導尋問型だった」と発言があった。

「政府の〝ガイドライン見直し〟などに、反対市民の意思表示が出しにくい」という意見に、「市民の声は無視することのできないものとして存在する。とにかく機会があるごとに声を上げていくこと。平和主義を生かすも殺すも、私たちの運動にかかっている」と励ます山内さん。

最後に「九七年調布発平和へのアピール」を採択、集会を閉じた。

「徳山村写真全記録」を出版
20年間に7万点を撮影
80歳、元気いっぱい 増山たづ子さん

ずーむUPまっぷ

六十一歳で初めてカメラを持ち、〝兵隊に取られて行方不明の夫がいつ帰ってきても説明できるように〟ダム工事で水没する故郷・岐阜県徳山村を取りつづけた増山たづ子さんは元気だった。八十歳になった。いま岐阜市の郊外で息子さん一家と暮らしている。

「一番いい部屋をもらって有り難いんだが…」部屋は山のような写真のアルバム、ネガ、本、徳山村のさまざまな音や民謡などを録音したテープなど埋まっていて、真ん中に増山さんと客の座るところだけがあいている。「息子はね、きれい好きなのよ。顔をしかめるんだが…」といいながら、「お茶飲むか」と増山さんが右を向けば魔法瓶があり、「エー、お菓子は」と左を向けば菓子の箱が…。「ね、便利でしょう?だから息子には入ってくるな、といってあるの。ワハハハハ」相変わらず明るい。

七十七歳のときガンといわれて手術をした。退院しても食事をとれずフラフラしていた増山さんを、NHKのプロデューサーが手をとって徳山村に連れていき、カジカガエルの鳴き声を取り番組をつくってくれた。故郷の空気を吸ってみるみる健康回復。「お蔭様でこの通り元気、元気。写真?時々徳山村に行って撮っとるよ」

このほど『増山たづ子徳山村写真全記録』が影書房から刊行された。増山さんの写真集『故郷 私の徳山村写真日記』（83年じゃこめいてぃ出版）、『ありがとう徳山村』（87年影書房）は共に品切れ。増山さんが二十年間に撮った七万点あまりの写真から、新たに選びなおし新しいものを加えて二百六十三点を収録した。増山ファンにはうれしい出版だ。

「イラ（私）は元気だし、本も出していただけたし、息子と一緒に住んでもろうとるし、いうことなしでありがたいが…」

ダムができるというので村人が移転し徳山村が地図から消えたのが十年前。

「ご先祖様から頂いた大事な土地を金に換えたんじゃもの、お金で持っていて使ってしまったら申し訳ない。徳山御殿などと悪口いわれたけど、皆、金全部を屋敷にかえた。だけど町は水を飲むにもお金がいるでな」。固定資産税がドサッときた。「徳山村なら一番大きな家でも三万円くらいでしょう。それが何十万の税金が来る。六軒も売りに出されたが、家が大きすぎて買い手がない」と。村にいるときは惚ける人などいなかった。このところ、惚けた、寝たきりになったという話をよく聞く。辛い。

「村では貧しくても、皆仲がよくて、笑いが絶えなかった。戦争中疎開でたくさん人が来たが、徳山村では一人として栄養失調にしなかったよ。お産と聞けばみなで布団からおむつから持ってきて世話をしたよ」

「徳山村はね、縄文のころからある古い村なの。ほら、私、自分のことイラというでしょう?これは徳山村の八つの集落のうち、私の集落・戸入だけの方言で、縄文時代の言葉ですと。オイラは新しい形ですと」。戸入には古い言語である「特殊促音」が残っていて、全国で残っているのは伊豆の石廊崎、八丈とメモも見ずに六か所の地名をすらすらと教えてくれた。

徳山ダムは工事がまた延び、あと九年かかるという。バブルがはじけ、もう水はいらないとか、ダム工事自体への疑問も出ている。

「水がいらないなら中止して、国立公園にして皆に見てもらったら、と思います。こんな大きなダムをつくると水圧で人工地震が起こるという大学の先生もあってな」。国がなぜこんなムダをし、いったん決めたことは変更しようとしないのか。腹立たしい。「徳山村は日本の縮図よ」

あと十年もかかるなら、こっそり村に帰って住んだら?といったら笑われてしまった。「村は皆が助け合って、生きていけるところ。一軒では暮らしていけぬ。破壊されたものは元にはもどらん」。

「増山たづ子徳山村写真全記録」（影書房☎03・3389・0533）3500円。

この人に一言インタビュー

笹沼凞子さん
全国労働組合総連合（全労連）女性部長

共通規制は国民的合意
「女子保護」撤廃は地獄への片道切符

改正均等法をどう見ますか。労働組合は、今後どのように運動しますか。

改正部分は、不十分ながらも一歩前進。募集・採用・配置・昇進の努力義務規定が禁止規定になったのは、女性たちが強く要求していたこと。そもそも、国際基準に違反する法律なのだから直すのは当然です。実効性ある平等法としてはまだまだ不十分です。

今回、企業側が均等法見直しの土俵に乗る条件として出したのが「女子保護規定」撤廃で、機会均等、職域拡大が理由でした。

全労連では、婦人少年審議会の建議が出て、法案が作成された時から、撤廃は絶対反対の要求でした。家庭責任の果たせない男のために、すべて責任を負っているのは女。単身の人でも親の介護の問題があり、これも女が背負っている。子育て中の人には、いきなりの残業が業務命令として出され、夫も残業で代われないと断れば解雇の理由になる、こうした今の労働実態からの反対でした。

女性の地位向上、男女平等は当然ですが、現状で撤廃すれば、正規雇用から女性を切り捨てる武器になってしまいます。財界の「二十一世紀戦略」では、雇用者の八〇～九〇%を不安定雇用にする。女子保護を撤廃し、まず女性を正規雇用からはずす。残りの一〇%の正規雇用でも、管理能力のない者はリストラの対象にするとはっきり言っています。深夜で安い賃金で女子が働けば、男はいらなくなる。男女とも安く不安定な労働を強いられます。

全労連では、合同闘争本部で、労働法制が改悪されたら、労働基準はぐちゃぐちゃになる。その突破口に女性保護規定撤廃があると位置付け、運動し、四十七都道府県全部に連絡会ができました。地方では、連合の組合員までが参加、組織の枠を越えて結集しています。働く者の要求は、どこだって同じです。男女共通規制は時代の流れと言いますが、男女ともに規制のあるヨーロッパと、青天井の野放しの日本では天国と地獄ですよ。全労連では、施行の九九年四月までに、男女とも年間千八百時間、時間外は一日二時間、年間百五十時間、時間外・休日・深夜勤には本人同意を求める要求を掲げて運動します。

男女共通規制なくしては男女平等なし。これは圧倒的国民の要求だから、運動次第で実現できるし、実現できないとんでもないことになります。

男女共同参画の施策と現状から ⑤

農業に従事する女性は二百二十五万九千人、全就業人口の五六・九%。林業は一万四千人、一六・六%。漁業は五万四千人、一七・九%を占めている。女性の働きなしには成り立たないのが現代の農山漁村といえる。

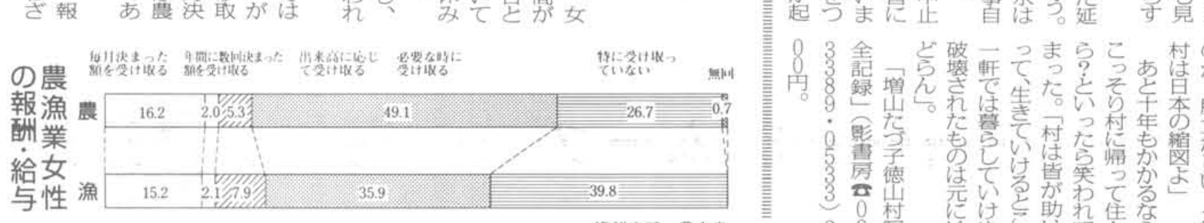
その働き方を見ると、女性は男性に比べ家事時間が長く、土曜、日曜も平日と殆ど変わらない時間働いている（図参照）。殆ど休みなしというのが実情だ。

この女性の功績に対し、働きにあった対価が払われているのだろうか。

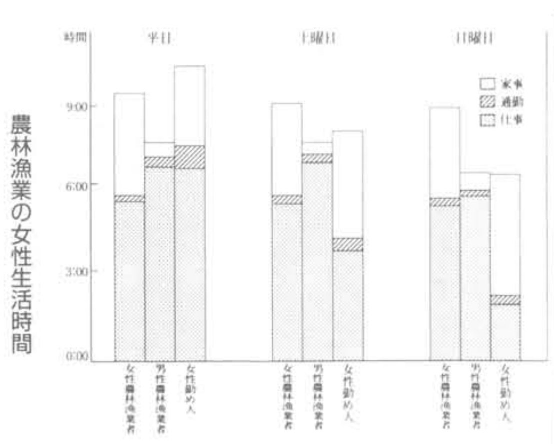
図でみるとおり農業では「必要なときうけとる」が多く、漁業は「特に受け取ってない」が最高。毎月決まった額を受け取る人は農漁業とも一六%内外である。

役割の大きさに対し、報酬はまことに低いといわざるをえないだろう。

農漁業女性の報酬・給与



資料出所 農水省



農林漁業の女性生活時間

地球ネットワーク アメリカ
変わらぬ黒人の自己イメージ

四〇年代に、社会心理学者のケネス・クラークは、黒人と白人の人形を使う単純な方法で、アフリカ系アメリカ人の子どもたちの自己イメージを調査した。

その結果、六〇%が黒人の人形を〝醜い〟、白人の人形を〝すてき〟と回答。

昨年、カリフォルニア州の十五歳のアフリカ系の女子高生フランキー・リリーが再びこの調査を試みた。

その結果、調査対象となった三～七歳の子ども百七十七人の四四%が、白人人形を好み、四九%が黒人人形を〝醜い〟と答え、二九%が「自分は白人人形に似ている」と答えた。

いずれの数字もクラークの調査よりわずかに減少してはいるものの、あまりの変化のなさに、大きな変化を期待していたフランキーは失望している。

（UTNE READER, MAY/JUN'97）

NGOの意見を！
「差別撤廃条約」状況報告書作成のために

政府は、「女子差別撤廃条約」の実施状況の第四回報告書を作成準備中だが、男女共同参画室はNGOに、わが国の現状として報告書に盛り込むべき事項、関連する活動報告をおくるよう呼びかけている。これに対応して男女共同参画推進連携会議（えがりてネットワーク）は、八月二十六日、報告書に盛り込む事項についてNGOから意見を聞く会を開いた。

「女子差別撤廃条約」締約国は、四年毎に状況を国連事務総長に報告する義務があり、日本は第四回の報告書を九八年七月二十五日までに提出する必要がある。前回の報告書へのコメントで、女性団体と効果的な対話をするよう指摘されており、今回はNGOから積極的な発言を聞くことになった。

一時間の時間がたりないほど、あらゆる問題について意見が出た。一番多かったのは、改正均等法が国会で通り注目の労働問題。「日本で女性の賃金が低いのは、女性が仕事を途中で辞め、パートが多いことばかりが言われているが、長年働きつづけた女性も賃金が安く、管理職が少ない。日本の社会、企業の体質をしっかり書いてほしい」「アンペイドワークの金の算定にも女性の低賃金が反映されている」「均等法は一歩踏み込んだが、女子保護規定の撤廃は心配。共通規制を一日も早くという声が高まっているのを反映して！」「コース別採用など間接差別のあることをしっかり書くべきだ」など数多くの意見が出た。

（問い合わせ総理府男女共同参画室。☎03・3581・2361、FAX03・3581・2868。）

松下電器ホームページ http://www.panasonic.co.jp/panasonic-j.html
あなたとともに 豊かな未来へ 松下電器

情報スクランブル 読者のひろば

みんなのページです。言いたいことや、知らせたいことがあったら、どんどん投稿して下さい。

編集部 電話 03(3343)1846 FAX 03(3348)1890

子どもの性的被害に向けて
新しいリーフ作りました

SARA性暴力被害者サポートラインは、二つのリーフレットを作りました。

全国の沢山の女性の方に答えていただいた調査をもとにして作ったので、できるだけ多くの人に見ていただきたいとのです。無料（郵送料だけ自己負担）でさし上げます。有効に使っていただける方、連絡ください。

リーフは一つは、子どもが性的被害にあったとき、近くにいる大人たちが何を一番大切に考えてその子をどう助けられるかをまとめたものです。サポートラインにも子どもの時にうけた被害を話しはじめ相談される方が多いのですが、助けてくれる大人がいなかったり、話してもきちんと受け止めてもらえなかったため、深刻な心の傷になっていることが多いのです。逆に言えば、早い時期に味方になってくれる大人にめぐり合えばこどもは自信と希望を回復するのです。

もう一つは、性暴力の被害を警察に訴える時役にたつ情報をまとめたもの。

リーフについての問い合わせはFAX03・3312・5784。

婦人問題奨励金贈呈者 推薦を公募

山川菊栄記念会は、第17回（97年度）婦人問題奨励金贈呈者の推薦を公募している。

昨年9月から今年8月までに出版され活字化された女性（問題）に関する研究論文、調査等ですぐれた業績をあげた個人、グループ（原則として女性、女性グループ）。自薦も可。贈呈金20万円。

葉書で、著者名、出版社、発表機関名、著作者の名、推薦理由を書いて9月30日まで〒251 藤沢市片瀬3－60－10B307山川菊栄記念会。

「萌の朱雀」 自分の意志をハッキリ
河瀬直美さんが女性監督にエール

7月中旬、大阪のドーンセンターで、女性映像フェスティバル開かれた。『萌の朱雀』で「カンヌ国際映画祭」の新人監督最優秀賞を受賞した河瀬直美さん、シネ・ヌーヴォ支配人の松井寛子さんの登場とあって、500席は満席になった。

河瀬さんは「萌」は若葉の息吹を意味し、私の好きな文字。「朱雀」は南の山を司る神で、私の出身の奈良では吉野山脈を指します。朱雀がどこからか見守っている5人家族の命を、使われなくなったトンネルを通して表現しました」という。

「萌は私の好きな文字…」と語る河瀬さん

出演者のほとんどが村人、高校生という素人の集まりというのも話題になったが、延べ30人のスタッフが時間をかけて、実生活までなじんでから撮影したというだけあって、素朴さと自然な動きがなんとも言えない、いい雰囲気をかもしだしている。

松田さんは「画像の緑がきれいだし、音もすばらしい」と絶賛。「映画は映画祭に出品するだけではだめ!賞を獲らなくては」と言いながらも、興業する立場からすれば「賞は獲っていないけど良い映画もたくさんある。そういう映画をぜひ観て欲しい」と。

受賞後、取材、講演などで引っ張りだこの生活に一変したが、河瀬さんは「受賞前、海のものとも山のものともわからない時、映画作りを応援してくれた人たちを大切にしたい」という。

最後に「最近女性監督も女性スタッフも増えてきましたが、一番欲しいのは資金提供の場に女性が欲しい」。また「撮影時は現場の空気を大切にしたい。が、映画監督は工事の現場監督と同じだから、〝私はこうする〟と自分の意志をはっきりぶつけることが大切」と、後に続く女性監督にアドバイスの言葉を送った。

『萌の朱雀』は、今秋テアトル系で上映される。著書も10月に出版されるという。

京都・高嶋紀子

北朝鮮の子どもたちにミルクを

クロツラヘラサギ

食糧危機で苦しむ北朝鮮〝渡り鳥の里〟の子どもたちにミルクを贈る活動を始めました。皆さまのカンパをお願いします。

私たちは去る6月に多摩動物公園で行われた、日本野鳥の会主催の、渡り鳥クロツラヘラサギをテーマにした「自然保護と国際協力」をきっかけに、この活動をはじめました。

クロツラヘラサギは東南アジアで冬を過ごし、夏は北朝鮮東海岸の離島で過ごす（まだ生態は完全にわかっていない）トキ科の鳥で、絶滅が心配されております。シンポでは、この小さな生き物のために、北朝鮮、韓国の学者、日本企業の研究者たちが真剣に情報を交換し、知恵を出し合い、素晴らしい光景でした。

折しも、北朝鮮の食糧危機がつたえられました。クロツラヘラサギの危機を救おうと国境を越え立ち上がる姿に感銘をうけた私たちが、その渡り鳥の里の子どもに手を差し延べないでおれましょう。

私たちは食糧難の戦後に、かつて敵国として戦ったアメリカから贈られてきたミルクを飲み育ちました。いま私たちは隣の国の子どもたちの力になりたいと思います。

北朝鮮に食糧を、というとき、ちゃんと届くのかという心配をされるのですが、カンパで粉ミルク、ビスケット等を買い、10月17日新潟港から現地に向かう日朝友好親善三多摩会議の訪問団に加えてもらい、現地でトラックをチャーターする予定です。

送り先 郵便振替 00170－3－140458 北朝鮮・渡り鳥の里の子どもたちにミルクを贈る会、問い合わせ☎0425・93・0221（下重）。郵便は〒191 日野市南平2－35－12 日本野鳥の会「鳥と緑の国際センター」

パンフ報告書

教科書から「慰安婦」問題を削れという「自由主義史観」に反対し、わかりやすく解説するブックレット式のハンディな本も出そろい始めている。

先に本欄で（6月20日号）紹介した『「慰安婦」問題Q&A「自由主義史観」への女たちの反論』（アジア女性資料センター編、明石書店発行、本体571円）は、慰安所ってなんですか?というところからはじまりわかりやすい。

『「従軍慰安婦」をめぐる30のウソと真実』（吉見義明・川田文子編、大月書店発行、本体900円）は、いま〝削除派〟の人々が様々言いたてている「慰安婦は強制でない」「慰安婦はいい生活をしていた」などという言説を30えらび、一つ一つに詳しく反論したもの。執筆は編者の二人のほか阿部浩巳（神奈川大助教授）、大谷猛夫（足立六中教諭）。簡潔だが、多くの資料を用い丁寧に説明。

『あごら』（あごらMINI編集部）で227号、229号、230号で「なぜ今「自賛史観」か」を特集。227号は両派の資料を徹底的に集めている。自由主義史観研究会のアピール、声明、自治体の決議とその反論、在日朝鮮人のアピール、韓国市民からの抗議、右派勢力の教科書攻撃略年表から、朝までテレビ「従軍慰安婦問題と歴史教科書」の紹介など。229号は、シンポジウム「今こそ考える歴史教育を〝自賛〟〝自虐〟史観を考える」の全記録。パネリスト井上澄夫、山田朗、米田佐代子、コーディネーター斉藤千代。中学校歴史教科書の「従軍慰安婦」記述のページの実物掲載も。230号は、吉見義明、松井やより講演記録。宝塚第一中学三年生の作文から。

雑誌の強みをいかし、くわしいデータで、なぜ今教科書攻撃か。繰り返される攻撃の裏にあるものは何かを示す。227号1000円、229号1143円、230号1300円。あごら編集部☎03・3354・3941。

ムーブ

千葉県浦安市議会は6月議会で「核兵器のない21世紀を要求する浦安市の宣言に関する決議」を採択した。「非核平和都市宣言」をしている都市は多く、浦安も85年に宣言しているが、この決議は宣言しただけでなくさらに倍する努力で核軍縮への歩みを早め、宣言を現実のものにせよというもので、全国に先駆けた決議。

◇

「草の実会」は8月15日、政府が取りまとめに向けて進めている「日米防衛協力のための指針」の見直しを取り止めるよう総理に要請書を送った。

〝周辺有事〟とは、いかなる基準で誰が判断するのか。米軍の赴くところ〝後方支援〟の名のもと連携行動をとることは、集団自衛権そのもの。まぎれもない憲法違反といっている。

◇

東京都にある8専門職能団体で構成する「よろず相談実行委員会」が9月20日(土)午前10時から午後4時まで無料相談会を開催する。

相談内容は相続、離婚、交通事故など、暮らしの中のあらゆる問題。あらかじめ電話予約（☎03・3581・2204、19日(金)10時～19時）が必要で、内容に基づき各専門家約50人が相談に応じる。

当日の会場は、東京都千代田区霞が関1－1－3弁護士会館5階。

お知らせ

9月 / 10月

[illegible]

なにかとなにかがいっしょになって、
いいものができると、イヒ！
だれかの考えとだれかの考えがいっしょになって、
いい考えが生まれると、イヒ！
私たちの社風は、とても議論好き。
ひとりで研究室にこもって大発明を志すんじゃなくて、
わいわいしゃべって、脱線して、ぐるっとまわって、
戻ったと思ったらぜんぜん別のところに
ひょっこりでてきたりしたときに、
私たちのイヒ！は、よく出ます。なにが好きかとか、
なにがおもしろいかとか、について熱く語っているとき、
どんどんエネルギーがわいてきて、
イヒ！イヒ！イヒ！イヒ！イヒ！
うれしくてたのしくて、はやくみんなに見せたい、きかせたい。
つくってわらってまたつくって、ひとと地球をわらわせたい。
きょうも、あちこちに響きあうだれかの声。
イヒ！ 私たちは、旭化成です。

旭化成
旭化成工業株式会社 〒100 東京都千代田区有楽町1-1-2日比谷三井ビル http://www.asahi-kasei.co.jp

子どもたちに平和な未来を

千葉市・母と女性教職員の会主催

青木悦さん講演

幻の像で追いつめる
家庭、親は最後の逃げ場

「第40回千葉市・母と女性教職員の会～子どもたちに平和な未来を」が七月下旬行われた。

午前中は市民会館と県教育会館に分かれて、小・中学校の問題、平和や国際理解、自立と共生の問題など十二の分科会が行われ、午後は青木悦（ジャーナリスト）さんの講演「子どもの心を見つめて」が行われた。

青木さんは、新聞記者を経て現在はフリーで活躍中。著書に「人間をさがす旅」「やっと見えてきた子どもたち」など、子どもに焦点をしぼった作品が多い。青木さんの講演内容を紹介する。

「私は取材を通して多くの子どもたちと出会ってきた」と青木さんは話しはじめた。「いじめを受けている子どもは〝両親を悲しませたくないから親に相談できない〟という。命ギリギリのところまで追い詰められながら、親や教師になぜ相談しないのかいつも気になっていた」と。

神戸の小学生殺害事件で中学生が逮捕されたあと、いろいろの人から電話をもらった。「何か事件が起きるとマスコミはその子の母のことを問題にする。母が働いていると〝放任〟と決めつける。私も子どもがおり、ずっと働いているが、放任した覚えはない」

「親のなかに〝幻の子ども像〟があるのではないか。勉強ができてキビキビ行動して、良い学校、大学へ進学する子どもという理想像＝幻の子ども像があり、自分の子と比較し、子どもを責めてしまう」

「家庭や学校は子どもの弱さを出せる場であってほしい。子どもは弱いのが当たり前なのに、〝人に負ける、頑張れ〟と言われると、自分がドジだからいじめられるのだと思い込み、自信を無くし、自己否定に陥る。子どもの最後の逃げ場は親、家庭である。子どもを丸ごと受け入れる場の存在が重要だ」

友人についても、「今の子どもは、友だちに本当のことをいってはいけないと思い込んでいるようだ。形式だけの友だちがいても仕方がない。友だちがいなくて一人で過ごしてもいいと思うよ、と伝えてやりたい」と言う。

「子どもは一人一人違っていて当たり前。みんな個性がある。それぞれ違いを持っているからいろいろなことを学ぶのだ。無駄な子は一人もいない」と、子どもの個性を尊重し、〝幻の子ども像〟にわが子を押しこめないことを強調した。

（浦野美智子）

女の目で視る

「ペダル・ドゥース」
（フランス映画）

ペダル・ドゥースには、〝自然体で〟と〝愛すべきゲイ〟という二つの意味が含まれているのだという。

この映画は、昼と夜では別な顔をもち二重生活を送る同性愛の男たちと、ゲイ・クラブの女性オーナーであるエヴァと銀行頭取アレクサンドルの恋とを絡めて、女や男や家族やモラルや愛のありようを、フランスならではの大人の喜劇として見せてくれる。

エヴァの店の常連であるアドリアンは、商談相手のアレクサンドルから夫人同伴のディナーに招かれ、エヴァに妻役を頼む。ディナーは散々だったが、エヴァに魅かれたアレクサンドルが店に現れるようになる。

当然ながら、アレクサンドルを啞然とさせる場面ばかりで、観ているほうはまことにおかしい。その上、短絡した夫婦の会話が、アレクサンドルの妻マリーの誤解をつのらせる。マリーは夫を引きとめるため、自宅にゲイたちを招きパーティを開いた。混乱の中でアレクサンドルは、エヴァが目当てなのだと口走って、マリーから平手打ちをくらったあげく、妊娠するのが嫌でピルをのんでいたと聞かされる。翌日、アレクサンドルは辞職し、妻と別れ、大事な話があると言うエヴァに「私の人生をかき回すな」と言い放って去る。

エヴァは父親にレイプされた過去をもっていた。だからアレクサンドルが男の傲慢さや一方的な言動を見せると怒りが抑えられない。どうやって収束をつけるのかと思いきや、ラストが傑作だ。

エヴァが抱く赤ん坊の洗礼式。アドリアンが「パパだよ」と赤ん坊に言う。若い男と大きなおなかのマリーもいる。そこにアレクサンドルが入って来る。偏見から自由になった人間になって。締めのシーンも暗示的で、頭の固い男性たちに見てもらいたい映画だが、面白味がわかるだろうか。

《日本人の男性には「社会のあり方や既成の価値観に疑いの目を向けない」人があまりに多い》――千葉敦子『寄りかかっては生きられない』（文春文庫）

鈴木陽子

頭の堅い男性に見てもらいたい

エンジョイスパイス

新鮮メニュー

▶246◀

じゃがいもは、煮ても揚げてもよく、あらゆる料理に合う食材ですが、どちらかというと、脇役として使われることが多いようです。そこで今回は、スパイスを使って、じゃがいもがメインの一品料理に仕上げます。ターメリックで黄色に色付けし、セージがツナの魚の臭みを取ります。クミン、コリアンダーは、魚の臭み取りの目的だけでなく、エキゾチックな香り付けのために、パセリの緑は彩りに使いました。この料理には、ツナの魚臭さを取るために、セージは欠かせませんが、クミン、コリアンダーがない場合カレー粉で代用してもよいでしょう。酒肴として作る場合は、カイエンペパーを加えて辛く仕上げます。球形に丸め、油で揚げてもよいでしょう。

《ツナの小判焼き》

【材料】（4人分）
じゃがいも（中）3個、ツナ缶詰1缶（160g）、玉ねぎ（小）½個、パン粉1C弱、スパイスⓐ［ターメリック小さじ1、クミン（パウダー）小さじ1、セージ（パウダー）小さじ¼、コリアンダー（パウダー）小さじ1、パセリ（ホウル）小さじ1］、塩小さじ⅓、サラダ油適宜

【作り方】
①じゃがいもは皮つきのままゆで、火が通ったら皮をむき、熱いうちにつぶす。
②ツナの缶詰は油を切りほぐす。玉ねぎはみじん切りにする。
③ボウルにじゃがいも、ツナ、玉ねぎ、ⓐのスパイス、塩を入れ混ぜ合わせる。
④さらに溶きほぐした卵、パン粉を加えよく混ぜ、1個を40gの小判型に整え、フライパンでこんがり焼く。
⑤器に盛ったら、季節の野菜などをソテーして添える。

（資料提供・ライオン㈱食品研究所／料理指導・園田ヒロ子）

スパイスを材料に加えよく混ぜます

小判型にしてフライパンで焼きます

酒のつまみにもぴったりの一品

魚肉の脂肪臭に乾燥葉が効果的　セージ

スパイス事典

セージは、園芸用としても親しまれており、数多くの品種があります。スパイスとして使われるのは、真正セージです。セージには独特の香りがありますが、この香気が、肉、魚の臭み消しに効果を発揮します。特に脂肪臭を消したい時に最適。乾燥した葉や、粉末にしたものを振りかけたり、練り込むと、より効果的です。油に漬け込んで使う方法もあります。

基本作用【セージ】
辛味付け☆
色付け
香り付け☆☆☆☆
臭み消し☆☆☆☆

出かけてみませんか

9月

▼トーク&シネマ 20日㈯14時 津田ホール（JR千駄谷駅前）話…佐藤ギン子（国連女子差別撤廃委員）映画上映「Shall We ダンス?」前売1500円、学生1300円申込み…9月10日まで 津田ホール文化振興会☎03・3402・8332

▼イタリアの食と暮らしの大バザール 20日㈯～23日㈷10時～18時 ハウスクエア横浜（地・中川駅2分）食品、ファッショングッズ、家具の販売、イタリアレストラン「エリオ・ロカンダ・イタリアーナ」出店 12時、14時イタリア音楽コンサート 無料 主催…㈱日本住情報交流センター☎045・912・7472、FAX045・912・4711

▼『明治の博覧会』展～明治の人も博覧会が好きだった～ 23日㈫～12月23日㈫㈷10時～17時（入場16時）※月曜休館 GAS MUSEUMがす資料館（西武・小平駅20分）新しい産業、文化を目にした人々の驚きを描いた錦絵約30点ほか、「瓦斯館」の写真、博覧会の見取り図などさまざまな角度からみた明治の博覧会を展示 無料 問合せ…同資料館☎0423・42・1715、FAX0423・42・8057

楊斎延「第3回内国勧業博覧会」明治23年＝(1890)

▼『第3回スーパー60世代展』 23日㈫㈷まで10時～18時 TSS東京ガス新宿ショールーム（新宿駅15分）※水曜休館 定年後もさまざまな分野で活躍する13名のライフスタイルを写真やパネル、ビデオインタビュー、創作作品などで展示紹介 無料 主催・問合せ…同ショールーム☎03・5338・6000

60歳でスキューバダイビングを始め、世界の海に潜りエイを追う藤川浩司69さん

▼セミナー「イタリアの食と文化を訪ねて」 27日㈯13時 ハウスクエア横浜ハウスクエアホール（地・中川駅2分）オルサーラ・エリオ（エリオ・ロカンダ・イタリアーナ）オーナーシェフ） 無料 主催…㈱日本住情報交流センター☎045・912・7472、FAX045・912・4711

▼セミナー〝見直しませんか住まいのあかり〟 22日㈪13時30分 ハウスクエア横浜（地・中川駅2分） 山中敏裕（照明コンサルタント） 100名（ハガキで申込み） 無料 9／16締切 主催・問合せ…㈱

最新刊！
男女平等オンブズパーソンが語る
ノルウェーの法と監視機関
男女平等オンブッド
●編集・発行「男女平等オンブッド」編集委員会（代表 三井マリ子）
国会議員の40％が女性で、父親の70％が育児休業をとる国ノルウェー。ここまでの道は平坦ではない。土台となった「男女平等法」、その監視役「男女平等オンブッド」、女性解放史上特筆すべき政策「クオータ制」がわかりやすく報告されている。昨秋のシンポジウムの記録集。
●A4版 72ページ 本体1200円
申し込み 同編集委員会
TEL・FAX 0427(24)9669

ほんと

「ケンちゃん日記」
貧しいけど喜かだったあのころ
新里堅進作・画

題名と、ひょいと開いたページに漫画がはいっていると、なんの本かしらと思ってしまうが、沖縄に生まれ育ち、沖縄戦や沖縄をテーマにした漫画を描きつづけている著者の自伝。

字の文章のあと漫画がはいり、というスタイルでつづられていく。漫画はこのための書き下ろしでなく、古い作品から適したものを探したらしいが、うまくマッチしている。

敗戦の翌年に生まれ、大家族で、貧しかったが、楽しくわんぱくだった少年時代。母から聞いた戦争の話。小学校六年のとき担任の教師にほめられ、初めて意識した絵の世界。高校時代、暇さえあれば行った琉米文化会館の図書館で、大田昌秀（現知事）、外間守善が書いた沖縄戦の手記「沖縄健児隊」を読み衝撃を覚え、この話を漫画にしたいと思い、この日を境に沖縄戦の漫画を描くようになる。

ウチナーンチュ（沖縄人）として沖縄にこだわり沖縄を描きつづけた誇り。文章もやさしく、活字も大きく、（漫画もいっぱい）、小学校高学年でも読めそうだが、大人が読んでもジーンとくるものがある。（枝）

（クリエイティブ21 本体千五百円）

「ひとりっ子の反乱」
恋愛・結婚だれのため？
西浜優子著

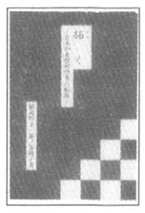
ひとりっ子の立場から高齢社会をみると、日本の公的制度や親子関係の問題点が、これほど明瞭になるとは。自身もひとりっ子の若者が、二〇代、三〇代のひとりっ子の人たちを取材し、明晰な分析を加えたのが本書である。

まず「一八歳から二四歳までの青年が親と同居している率は先進国中、日本が最高の八二・九パーセント」という総務庁の九三年の調査があげられているが、ここには成人してなお、親の保護のもとにいる子どもと、その子どもを黙認する親を不思議と思わない関係がある。将来の暗黙の約束だ。

だが、子どもが恋愛や結婚に直面すると、親と子の考え方のズレや男女観の相違が当然ながら際立ってくる。ことに目立つのは親の気持ちの押しつけである。氏や跡継ぎにこだわり、この国では人は「家」存続のための道具と若者は言う。

子どもの側も、親の期待や育ててもらった恩との葛藤に陥ったとき「自身の『親孝行』の正体を徹底的に検証」しないと、「身内による扶養を優先する法と社会規範」につけ込まれてしまう。多くの事例から、社会通念や世間体に振り回され、血縁を信頼し「役割」を生きている人々が見えてくる。

ひとりっ子やその親は勿論、それ以外の人たちにもぜひ読んでもらいたい本だ。（陽）（ほたる出版発行・星雲社発売 本体千六百円）



「拓く」
日本女性科学者の軌跡
都河明子
嘉ノ海暁子著

伝記はおろか情報さえ少ない日本の女性科学者。草創期の科学者六人の伝記だが、この六人の名前（シーボルト・イネ、保井コノ、黒田チカ、金山ラク、湯浅年子、団ジーン）だけでも聞いた事がある人が何人いるだろうか。

しかし、この一人ひとりがなんと意思強く、魅力的なことか。狭い門をかいくぐり昇って行ったエネルギーに驚嘆する。東京女高師出身者が多いことは（保井、黒田、金山、湯浅）は、そのまま女高師理科が女性が理系を学べる唯一の道だったことを物語るし、東北帝大の女性への門戸開放（大正2）がどんなに大きいことだったか、黒田、金山の項で見ることが出来る。

成功者だけでなく、金山のように、結婚のため挫折せざるをえなかった人を取り上げたのも、興味ある選び方だし、アメリカ人だが、日本人と結婚、戦争中の日本でがんばった団ジーンの生き方にもひかれる。彼女に学問をつづけることをすすめ仕事をしていることを喜んだ夫（団勝麿）の存在はうれしい。読みやすい文章でわかりやすい。

巻末に女性科学者の現状や今昔についての資料がついている。（枝）

（ドメス出版 本体千九百円）